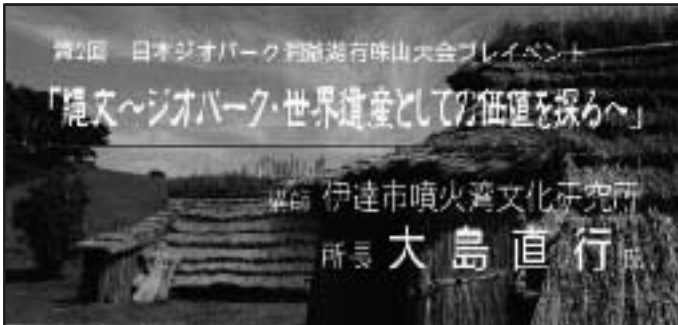


世界ジオパーク認定

洞爺湖有珠山



伊達市にある北黄金貝塚や有珠モシリ遺跡、そして有珠湾沿岸に展開したアイヌ文化など、「環境と文化の調和」を図りながら、生活してきた先人に思いをはせ、ジオパークの取組を通じた地域の魅力について、一緒に考えてみませんか。

- 日時 3月2日 18:00~20:00
■場所 壮瞥町役場地域交流センター山美湖
■参加費 無 料
■申込み 洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
☎ 66-4200

主な見所とする自然の中の公園です。
2004年にユネスコの支援により「世界ジオパークネットワーク」が設立され、現在中国・ヨーロッパを中心に世界25カ国77地域が加盟しています。
これは、世界遺産と違い、保全するだけでなく、科学教育、防災教育や観光振興に役立て、地域経済や文化の発展のため活用していくこととするものです。
その範囲は、地形によってつくられ、さされる景観、貴重な植物生態系、また文化、産業など地域に根ざしたもので広がります。

ジオパークとツーリズム（観光）

ジオツーリズムとは、ジオパークを観光として活用し、持続的な地域経済の活性化と地域振興を推進して行こうとするものです。

洞爺湖有珠山ジオパークのテーマは、変動する大地との共生です。数十年に一度の割合で激しい変動を見せる洞爺湖・有珠山地域は、荒々しい大地の変動を体感することのできる貴重な学習の場です。

火山は、私たちに温泉、農作物、美しい景観など、さまざまな恵みをもたらしてくれまます。洞爺湖周辺では、古くからの人と火山の共生の歴史を見る事ができます。

こういった資源を活用し、大きな景観を眺め、自然について学び、温泉につかって、地場産の食材を使った料理を堪能してもらう」という、ジオパークの考え方を取入れた一貫した観光への取組みが求められます。

そのために、新たなジオパークの発掘や既存の資源の整備なども必要ですし、なによりリーダーを飽きさせない仕掛けが

重要となってきます。

そして欠かせないのが、町民全体の盛り上げです。郷土の自然のすばらしさや歴史を知るところなしに、生まれた所に誇りを持つことはありません。町民皆さん一人ひとりが自分のまちの魅力を自覚してはじめて、他の人にもその良さが伝わるものではないでしょうか。

またジオパークの存在は、観光資源として、経済活動を促進させる役割だけではなく、安全活動の推進により、親子へ、子から孫へと地域の宝が永遠に引継がれていくことを可能にしてくれました。

秋の大会は、今後の洞爺湖有珠山ジオパークを、一層充実させていく絶好の機会です。

洞爺湖サミットや縄文サミットなど大きな大会を成功させた経験を、同大会にもいかし、町民皆さんの協力で成功させていきましよう。

問合せ

洞爺湖有珠山ジオパーク
推進協議会

☎ 66-4200